

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 211 事業名 点字文書事務委託事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	2	障害のある人の自立と社会参加の推進
基本方針	1	社会活動への参加促進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市障害者計画		
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	松村 維人 (435-1060)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	身体障害者福祉費		
	大事業	身体障害者福祉事務		
事項	点字文書事務委託事業			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	各種文書や資料等の点訳を関係団体に委託することにより、視覚障害者の方々の意思疎通を図る。	盲学校の入学式、卒業式への祝電、成人式のプログラム、講座の資料等の点字文書の作成を、和歌山市視覚障害者福祉協会に委託する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		作成及び解読依頼	作成及び解読依頼	作成及び解読依頼	作成及び解読依頼	作成及び解読依頼

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	580	580	60		60		60		60	
	伸び率 (%)	-		-89.7%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	2,302	2,302	2,302		2,302		2,302		2,302
		非常勤職員	0	0	0		0		0		0
		小計	2,302	2,302	2,302		2,302		2,302		2,302
	国庫支出金	260	260								
	県支出金	130	130								
	市債										
	その他										
	一般財源(税等)	190	190	60		60		60		60	
所要人数	常勤職員	0.31	0.31	0.31		0.31		0.31		0.31	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00		0.00		0		0	
主な予算内訳		委託料									

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		年度目標値	実績値	年度別達成度	年度目標値	実績値
活動指標	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		
成果指標	点字文書作成及び解読依頼件数	8	4	50.0%	6	6
	単位	全体目標値	全体目標達成度	55.0%	年度別達成度	50.0%
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各種文書や資料等の点訳を関係団体に委託することにより、視覚障害者の方々との意思疎通を図るという観点からも必要である。
「見直し」 「改善」案	現状まま維持継続